

南丹市子育て発達支援センター運営委員会議事録

令和5年度第2回

(令和6年2月19日)

令和5年度第2回南丹市子育て発達支援センター運営委員会議事録

1. 日 時 令和6年2月19日(月)  
開 会 午前10時00分 閉 会 午前10時45分
2. 場 所 南丹市役所 2号庁舎 3階 301大会議室
3. 協議事項 別紙次第のとおり
4. 出席委員 村上委員長 西村副委員長  
中田委員 河方委員 澤田委員 渡邊委員 高西委員 寺田委員  
新井委員 西田委員 大西委員 大谷委員 石丸委員
5. 事務局 福祉事務所長 矢田  
社会福祉課課長 奥村  
社会福祉課係長 土屋  
社会福祉課主査 荒木  
つくし園施設長 大平
6. 傍聴人 0名

## 1.開会あいさつ 委員長

本日は本当にご多忙の折、早くからの会議に出席頂きましてありがとうございます。  
今日は子育て発達支援センターの会議ということで、市やつくし園より、本当に丁寧な説明がごございます。皆様方のご意見やご感想をこの場で話して頂き、有意義な時間を過ごせますようにと思っております。

## 2.議事

- ・令和5年度発達支援相談事業経過報告

事務局より資料1, 2を基に報告。

- ・令和5年度児童発達支援事業経過報告

事務局より資料3, 4を基に報告。

- ・事業経過報告について質疑応答

A 委員：センター事業の児童発達支援事業の体制整備というところで、花ノ木の児童発達の南丹市枠というのが2名あるのですが、どこがおすすめになっているのかを教えてくださいとありがたいです。

事務局：つくし園に通われてるお子さんと、花ノ木さんを受診されているお子さんが対象で、南丹市枠が2名で、花ノ木とつくし園とで相談し、構造化があった方が良いお子さんをドクターの見解を聞きながらすすめていくという感じですが。毎年2名すすめさせて頂いています。

議長：ありがとうございました。他にご質問、ご意見はありませんか。

⇒質疑なし

- ・令和6年度発達支援相談事業方針

事務局より資料5を基に説明。

- ・令和6年度児童発達支援事業方針

事務局より資料6を基に説明。

- ・事業方針について質疑応答

B 委員：5歳児の就学前の子どもさんの間隔を詰めたOT相談やST相談などを実施して頂いていて、子ども達を小学校に送る私達にとってはとても心強いですが。支援と保育の垣根も低くなってきたのですが、そうになると保育士も細かいスキルが求められるようになりますので、そういったところをセンターやつくし園と連携させてもらうことで、子ども達たちに返していけますし、それをまた小学校でも継続してもらえてるところが、南丹市の様な小さな町の強みだと感じています。

C 委員:今年度はコロナでできていなかった家族の会の総会をつくし園にして頂いて、就学前の情報提供研修の後に、来て頂いた保護者に対して、総会と保護者同士の繋がりを強める交流会を実施できました。また親子で参加して頂いて、つくし園でゲームをするなどの秋の交流会も今年度は実施できました。つくし園の保護者同士が集まった時には、ざっくばらんに子どもの話ができるので、すごく親同士の繋がりがあって、本当に必要な場所で、親にとっても子どもにとっても本当に居心地の良い安心できる場所になっていると感じています。先生方のご負担もとても大きいのかなあとと思いますので、また市全体で活動をサポートして頂けるようになっていけたらすごく良いなと思っています。

事務局:今年度はコロナ禍でできていなかった家族会の行事をたくさん実施して頂いて、保護者さんにとっても親同士の繋がりを持てる機会になったと感じますし、そのような行事を通して保護者さん自身が安心して子育てができるようになり、情報収集することができて良かったと考えています。

委員長:この間、私もつくし園に行かしてもらって、帰り際に元気なお子さん達の声が聞けて、あの時は「だるまさんが転んだ」とかのゲームをしているみたいで、行かせてもらう度に私が元気をもらえるなと思って帰ってきております。その子達の本当に良い居場所があるということはすごくうれしく思っております。

議長:発達支援事業及び児童発達支援事業経過報告及び事業方針について、承諾いただける方は挙手を願います。

⇒全員挙手。

議長:承認されました。

それでは、議事をこれで終わります。

議長退壇

### 3.閉会のあいさつ 副委員長

本日は皆様誠にありがとうございました。つくし園さんに対する感謝の言葉を聞くと、お子さんが少しずつ成長される部分は、発達支援センターでのこういった会議で、早期発見等々がなされているからではないかということを改めて感じさせて頂いたところです。南丹市では来年度から子育て部門が教育委員会の管轄になりますので、就学前就学後の繋がりとというのは、今まで以上に垣根なく連携ができていくことが期待される状況になります。なかなか子育て支援と教育委員会が一緒になっている自治体が少ないですが、南丹市は先行してそういう形でやっていくことになっておりますので、それにつきましては皆様にもご期待を頂きたいと思っております。引き続き皆様の議論が深まりまして、何より夢を諦めない子ども達が成長してもらえるように申し上げまして、私のごあいさつとさせていただきます。